

セブン&アイは「エコプロダクツ2014」に出展いたしました。

開催日：2014年12月11日(木)～13日(土)

出展内容：

地球上では人口増加や生活の変化による、自然資本の枯渇、生物多様性の損失などさまざまな環境問題に直面しています。地球の持続可能性を保ちながら、企業も持続的に成長するためにできることの一つは「資源の循環」です。

セブン&アイ・ホールディングスの目指す「循環型社会」について、小売業ならではの最新の取り組みと未来の展望についてステージパフォーマンスと各種展示でご紹介しました。



セブン&アイブースの正面

①シアター内では、グループが目指す循環型社会をテーマに「食品の循環」「ペットボトルの循環」「森の循環」を紹介



シアター内では、ナレーターが説明をしながら約8分間の映像をご覧いただきました。
 (→この様子を映像でご覧いただけます。)

会場は80人を収容するスペースがあり、3日間とも全回満員となり、多くのお客様に私たちの取り組みを知っていただくことができました。

②食品廃棄物のリサイクルに関する取り組みを紹介



次世代の食品リサイクルループについてスタッフが説明。



一部店舗に設置している生ごみ処理機を説明。



イトーヨーカドーなどの店舗内から出た食品残さを回収して肥料化。その肥料を使って野菜を生産する「セブンファーム」を紹介。

③ペットボトルのリサイクルの仕組みを紹介



イトーヨーカドーなどスーパーに設置している「ペットボトル自動回収機」の仕組みを説明。セブン-イレブンにも設置できるよう、小型の開発を進めています。



回収したペットボトルを商品パッケージに使用したプライベートブランド「セブンプレミアム」の商品を展示。

④自然教育ゾーンでは、森に関わる取り組みを紹介



一般財団法人セブン-イレブン記念財団が2015年春に東京都八王子市に開校する「高尾の森自然学校」。東京都との協働事業として、森林を守り育てながら低炭素社会の実現に寄与することと、生物多様性も守っていくことを紹介しました、開校後には、一般の方の活動への参加を募っていきます。

⑤セブン銀行が継続して協賛している絵本『森の戦士ボノロン』の特別号とバックナンバーの配布や、富士山清掃活動、ATMの省エネ対策・リサイクルの取り組みを紹介



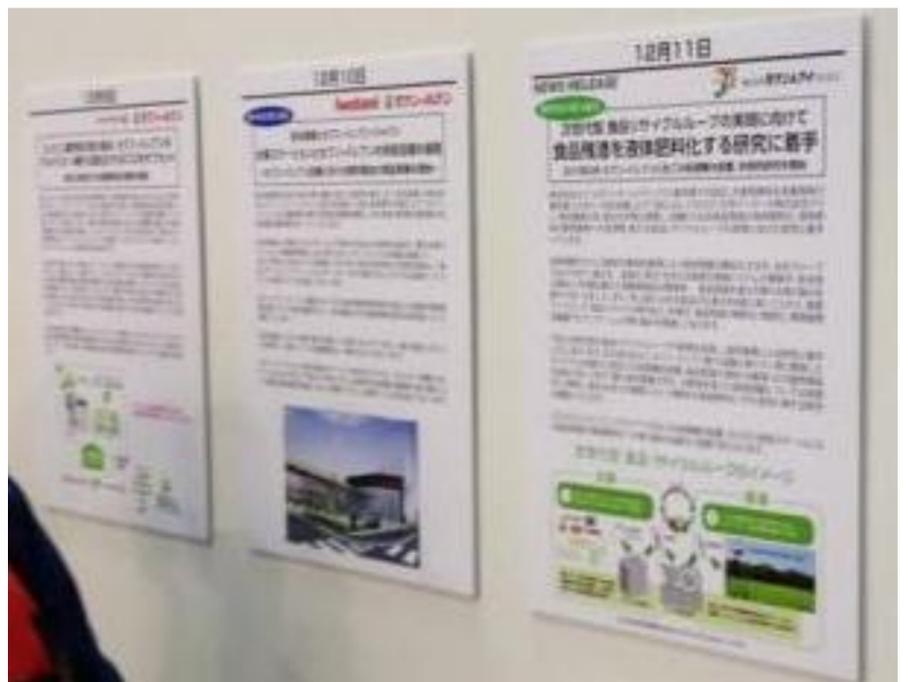
セブン-イレブン店内などに設置しているセブン銀行のATMの省エネ機能を説明。



セブン-イレブンの店頭で無料配布している「森の戦士ボノロン」実際にボノロンが登場して一緒に記念撮影。



セブン&アイ・フードシステムズが参加している食べ残し削減を目指す「食べきりげんまんプロジェクト」を紹介。また、そごう・西武やイトーヨーカドー、赤ちゃん本舗が使用可能な子供靴をお客様から回収してザンビアに贈る取り組みなどを紹介。



最新のニュースリリース3件を掲示。

- ①セブン-イレブンのマルチコピー機から排出されるCO₂を富士ゼロックス株式会社様がクレジット(排出権)購入しオフセット
- ②水素ステーションを併設したセブン-イレブン店舗を開店予定
- ③食品残さを液体肥料化する研究を開始

セブン&アイブースに多数のご来場をいただきまして、誠にありがとうございました。